

1 これまで3年間（H20～22年度）の取組について

1 児童・生徒の状況

(1) 学習事項の定着（学力）について

（成果）

- ◆数値目標である4つの項目すべてで成果が出た。
 - ・「①成績下位層の人数を減らす」については、達成できた。全国学力・学習状況調査では、正答率40%未満の生徒の割合がH22年度は本校H19～21年度平均値と比較して、国語Aでは3.8%、国語Bでは9.0%、数学Aでは6.2%減少した。また、無答率もH22年度は本校H19～21年度平均値と比較して、国語Aでは3.4%、国語Bでは6.5%、数学Aでは2.8%と減少した。
 - ・「②遅刻する生徒の数を減らす」については、家庭と連携し、家庭連絡や家庭訪問を継続することにより成果が現れた。
 - ・「③チャイム着席の定着、授業中の私語をなくす」については、「授業時の約束」（教職員用）（生徒用）の中にそれぞれ目標として記載しており、教職員自身がチャイムとともに授業を始めることでチャイム着席するようになってきている。「私語がある時は静かになるまで待つ」も同様である。
 - ・「④授業はわかりやすい」と回答する生徒の割合を増やすについては、学習内容がより難しくなっている2年生で特に成果が出ており、学校教育自己診断結果で肯定的評価が80%近くになっている。
- ◆全国学力・学習状況調査結果より
 - ・国語ではB調査の「書くこと」「読むこと」の領域でみられていた課題が、H22年度は本校H19～21年度平均値と比較して、国語Bでは5.6%上昇した。
- ◆生徒指導委員会と連携して「授業時の約束」を各教室や職員室に掲示し、教職員、生徒ともに意識して取り組んだ。また、学期ごとにアンケートをとり、その実施状況を検証した。
- ◆地域人材を活用しての学習会の充実、定期テスト前にプレテストを実施等、基礎学力を定着させる取り組みを実施した。取り組みを通じて成果が現れ、生徒の自信につながり、学習意欲を高めることができた。
- ◆基礎的・基本的な学習内容が定着しやすくするために昨年度まで4回だった定期考査を今年度一回増やして5回にした。
- ◆教育相談を学期ごとに実施して、生徒とのコミュニケーションをはかり、教職員との信頼関係を深めた。この信頼関係が学習場面でも生かされ、成果につながっている。
- ◆特別支援教育の研修を行い、全教職員の共通理解のもと、すべての生徒にとってわかりやすい授業、ユニバーサルデザインの授業をめざすことで、授業改革にもつながりつつある。

（課題）

- ◆全国学力・学習状況調査結果より
 - ・数学ではB調査の物事を発展的に考えることや問題解決の構想を立て、結果を数学的な表現を用いて説明することについてみられていた課題があったが、正答率・無答率ともに改善することができなかった。（H22年度は本校H19～21年度平均値と比較して正答率は1.5%低下、無答率は4.9%上昇した）
- ◆「学習事項の定着」については、まだ低位層の生徒も少なくないため、より丁寧な検証を行っていく必要がある。

(2) 「ゆめ力」「自分力」「つながり力」「学び力」の育成について

（成果）

- ◆全国学力・学習状況調査結果より（●は全国学力学習状況調査における市の指標項目、【 】内の記号は本校前年度数値との比較での評価：上昇は○、下降は×で表記）

【ゆめ力】（将来に展望を持ち、努力できる力）

- 「**ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか**」の肯定的評価は、前年度よりも10.9%上昇した。【○】
- 「**国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか**」の肯定的評価は、前年度よりも12.4%上昇した。【○】
- 「**数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか**」の肯定的評価は、前年度よりも14.2%上昇した。【○】
- ・「**難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか**」の肯定的評価は、前年度より16.7%上昇した。【○】

【自分力】（規範意識を持ち、自分をコントロールできる力）

- 「**朝食を毎日食べていますか**」の肯定的評価は、前年度よりも10.1%上昇した。【○】
- 「**毎日、同じくらいの時刻に起きていますか**」の肯定的評価は、前年度よりも1.5%上昇した。【○】
- 「**学校のきまり(規則)を守っていますか**」の肯定的評価は、前年度よりも5.7%上昇した。【○】
- 「**いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか**」の肯定的評価は、前年度よりも8.5%上昇した。【○】
- ・「**家で学校の宿題をしていますか**」の肯定的評価は、前年度より15.7%上昇した。【○】
- ・「**家で学校の授業の予習をしていますか**」の肯定的評価は、前年度より13.4%上昇した。【○】
- ・「**家で学校の授業の復習をしていますか**」の肯定的評価は、前年度より4.3%上昇した。【○】

【つながり力】（他者を尊重し、積極的に人間関係を築こうとする力）

- 「**人が困っているときは、進んで助けていますか**」の肯定的評価は、前年度より12.5%上昇した。【○】
- 「**近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか**」の肯定的評価は、前年度より4.3%上昇した。【○】
- 「**人の役に立つ人間になりたいと思いますか**」の肯定的評価は、前年度より11.3%上昇した。【○】
- ・「**人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか**」の肯定的評価は、前年度より10.1%上昇した。【○】

【学び力】（学校の授業で意欲的に学ぶ力）

- 「**学校で好きな授業がありますか**」の肯定的評価は、前年度より5.1%上回った。【○】
- 「**国語の授業の内容はよく分かりますか**」の肯定的評価は、前年度より26.4%上回った。【○】
- 「**数学の授業の内容はよく分かりますか**」の肯定的評価は、前年度より0.5%上回った。【○】
- ・「**普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか**」の肯定的評価は、前年度より11.0%上昇した。【○】
- ・「**普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか**」の肯定的評価は、前年度より8.9%上昇した。【○】

（課題）

◆全国学力・学習状況調査結果より、

【ゆめ力】（将来に展望を持ち、努力できる力）

- 「**将来の夢や目標を持っていますか**」の肯定的評価は、前年度よりも1.5%下回った。【×】

【つながり力】（他者を尊重し、積極的に人間関係を築こうとする力）

- 「**友達との約束を守っていますか**」の肯定的評価は、前年度より1.0%下回った。【×】

【学び力】（学校の授業で意欲的に学ぶ力）

- 「**学校で友達に会うのは楽しいと思いますか**」の肯定的評価は、前年度より1.7%下回った。【×】
- ・「**普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか**」の肯定的評価は、前年度よりも10.0%上回ったが、全国平均を下回っている。【○】

2 学校の取組

(成果)

- ◆全教職員参加による授業研究を伴う校内研修を実施することができた。
- ◆テスト前学習会を計画的に行い、併行してプレテストを行い、基礎的・基本的な学習内容を定着させることができた。
- ◆ペアワークやグループ学習を取り入れる授業が増えてきた。
- ◆「授業の約束」(教職員用)(生徒用)を設定し、授業規律確立に向けての取り組みを進めることができた。また、取り組みの検証も行うことができた。
- ◆学力保障委員会を中心に上記のような取り組みを組織的、計画的に実施することができた。

(課題)

- ◆全教職員参加による授業研究を行うことができたが、年1回実施のみだった。今年度は複数回以上実施できるよう計画していきたい。
- ◆ペアワークやグループ学習を取り入れる授業は増えてきたが、学校全体としてはまだまだ定着しているとは言えない。また、実施されているペアワーク、グループ学習は、練習や問題演習の場面で実施がほとんどである。問題解決、課題解決に関わる学習場面でのグループ学習はあまり取り組めていない。

2 これから3年間(H23~25年度)の取組について

1 3年間の重点課題

	重点課題	検証軸	25年度の到達目標
①	生徒一人ひとりの基礎学力の充実と定着をはかる。	全国学力・学習状況調査結果 大阪府学力テスト 定期テスト分析	全国学力・学習状況調査において本校 H20~22年度平均値を上回る。 全国学力・学習状況調査において正答率40%未満の生徒の割合を本校 H20~22年度平均値を下回る。
②	生徒一人ひとりが「わかる喜び」「できる喜び」を体感し、生き生きと参加できる授業を創造していく。	研究授業 学校教育自己診断結果 授業アンケート結果	学校教育自己診断において「授業はわかりやすい」の項目で本校 H20~22年度平均値を上回る。
③	クラス集団づくりと結びついた教科指導(学習集団づくり)をすすめる。	全国学力・学習状況調査結果	全国学力・学習状況調査において「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか」「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」の項目で肯定的評価が本校 H20~22年度平均値を上回る

2 3年間の取組計画

3年間共通の計画	年度ごとの計画	
<p>① 課題を持った生徒の学力保障</p> <p>◆学力の実態把握を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生入学当初に国語・算数の学力実態調査(確かめテスト)を実施し、結果を分析する。結果個票を生徒・保護者に返却する。 ・大阪府学力テストの結果を分析し、2学期からの授業づくりに役立てる ・定期テスト結果の分析を行い、基礎的・基本的学力が定着しているかを確認し、授業内容が適切であるかどうか検証する。 <p>② 授業づくり</p> <p>◆授業ルールの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒授業時の約束(教職員用)(生徒用)の徹底 ⇒授業時の約束の実施状況の検証(授業アンケート・授業振り返りアンケートの実施) ・教科会議の充実をはかる。テスト問題の検討、結果分析、学習へのアドバイスを生徒へ発信、テスト終了時に出題意図を含め結果分析を各教科で行う。 ・研究授業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ⇒1学期は教職経験3年以上の教職員が1名実施 ⇒2学期は教職経験3年未満の教職員が1名実施 	平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制の確認と整備 ・計画の評価と見直し
<p>⇒教職員は期間中に少なくとも1時間は参観し、感想用紙を学力保障委員会に提出する。</p> <p>⇒学年会議や職員会議で交流する。</p> <p>③ 学力補充の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を実施する <ul style="list-style-type: none"> ⇒図書委員会と連携して学年ごとに実施する。 ・放課後等の学習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ⇒日程・使用教室を学力保障委員会で調整する。 ・専門支援委員の効果的な活用方法を学力保障委員会で調整し活用していく。 	平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の評価と見直し
<p>④ 家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引きの発行 <ul style="list-style-type: none"> ⇒家庭訪問時に担任より保護者に手渡しし内容を説明する。 ・学力保障の取り組みをまとめ、通信等で保護者に発信する。 <p>⑤ 体力向上の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育授業時に全クラスで毎時間、 <ol style="list-style-type: none"> (1)ランニング (2)筋力トレーニング(腹筋・背筋・腕立て伏せ・馬跳び・ジャンプ) を行う。 ・冬季には体育授業時に全クラス持久走に取り組む。 ・4～5月に体力テストを実施し、効果測定を行う。 	平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の評価と見直し

3 推進体制

